



子育て不安と茄子の花は
千に一つの仇もない

～あなたと子どもを育むどんぐりさんのメッセージ～

西川 奈緒美

はじめに

本書は、子育ての〔how to〕を書いたものではありません。特別なことではなく、ごく普通の人の日常。わたしがこの世に命をいただいてから、結婚して「妻」「母」として、今日までに経験したこと、感じた子育ての体験を。やがて子どもが成長して、子育ての手が離れるにしたがって、「生き直し」を意識して歩んできた日々を描いた、「子育て体験」と「自己実現」へ向けての「エピソード集」です。

紹介が遅れましたね。わたくし「子育てと自己実現のサポーターのどんぐり」こと西川奈緒美です。この世に生を享け、育ててもらって大人になり、社会人として人並みに働いて、誰かと出会って結婚し専業主婦になり、三人の男の子の子育てに奮闘の日々を送りました。結婚して十二年目の春、夫の実家の近くに移り住み、同時に、子育てに一段落し心に余裕が生まれたのを機に、社会復帰して、様々な職種と職場を経験したの。ほら、どこにでも転がっていそうな、ごく一般的な人生を生きてきた人でしょう。そんなどんぐりさん「あれ？」って気が付いたら五十歳。い

つの間にか半世紀。「光陰矢のごとし……」ってこのことよね。「このままなんとなく年齢を重ねていくの？」と焦ったわたしは、五十歳を前にして、自分に問いかけた。「あなたは何をしたいの？」と。考え抜いての結論が「一度きりの自分の人生だもの。好きなことをすればいい」ってこと。そこで自分の気持ちを整理してみた。わたしは人が好き、子どもが好き、成長する姿を見るのが好き。「子どもの育ちをサポートしたい！」「なら、具体的には何をするの？」「そうだ、母親の心のサポートをしよう」と決めた。自分が「心からしたいこと」を見つけてくることができた。それが、子育て中のママの支援なの。

本書が誰かの役に立つかどうかで考えると「？」。それはね、感じ方は人それぞれだから。同じような体験をしたとしても、思いが同じとは限らない。「読んでよかったです！」と言われるとうれしいに違いない。けれど、手に取って、読んでいただけただけことが何よりの喜びなの。「こんな人があるんだ！」「こんなふうに考えてもいいんだ！」「こんなとき、自分だったらどう思うかな？ どうするか？」と考えるきっかけにしてくれたら、「十分やん！」って思うのよ。だから「わたしの子育てこれでいいの？ 大丈夫？」「不安だ……自信がない」「こんなこと考えるわたしは母親失格？」など、誰にも言えなくて吐き気や頭痛がしたり、「マイナス感情がぐるぐるループしているな！」って思ったりしたら手に取って読んでみて欲しいなと思う。

さてさて、もうじき本題ですよ！

「どんぐりさんはどんな人なのかな?」「どんな子育て体験をしたのかな?」「どんな人生を生きてきたのかな?」「これからどんな人生を生きたいのかな?」と、興味が湧いてきたでしょうか?

さあ、いよいよはじまり、はじまり~~~~。